



週)報

2012~2013年度))) R I会長)田)中)作)次)
『奉)仕)を)通)じ)て)平)和)を』)
))))))))))第2570地区ガバナー)鈴)木)秀)憲)

国際ロータリー
第2570地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)若松泰誼) 会長エレクト)栗原憲司))副会長)山室博美))幹事)稲見)淳

〔第3グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第943回(4月16日)例会の記録

点 鐘 若松泰誼会長
合 唱 我らの生業
第2副SAA 中谷君、野口(建)君
卓話講師 国際ロータリー第2770地区
財団奨学・平和フェロー
学友委員 井原 實様
ビジター 田口伸一様(狭山RC)
田中隆行様(入会予定者)

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
30名	26名	86.66%	80.00%

会長の時間

若松会長)

「生きること、愛すること」

随分以前にラジオで伊波敏男さんという方のお話を聞いたことがあります。当時、痛く感動しまして伊波さんの書かれた本を読んだり、別の作家が書かれたノンフィクションを読んだりしたことがあります。今日はその話をさせていただきます。

伊波さんは1943年沖縄県南大東島生まれました。私と同じ年です。14才の時、ハンセン病を発症。当時はハンセン病にかかると「ライ予防法」(96年に廃止)という法律により、社会から隔離をされ、一生施設内で生きていく運命になります。

ハンセン病と診断された日、14才の伊波少年は家族と最後の食事をし、涙の別れをします。そして四方を海に囲まれた“愛楽園診療所”へ偽名に変えさせられ入所します。



伊波少年の書いた作文がコンクールに入選し、内地に送られました。それが文豪・川端康成の目に留まったんですね。沖縄を訪問する機会があった川端は、伊波少年に会いたいと切望し、“愛楽園”を訪ねました。川端は伊波少年の手をとり、目に涙を浮かべて言いました。

「たくさん書きなさい。自分の中にいっぱい蓄えなさい」と。別れ際に「何か欲しい物がありますか？」と川端は聞きました。すかさず伊波少年は「本です」と答えました。4週間後、本がいっぱい入った段ボール箱がいくつも届きました。

ハンセン病にかかった子供たちは中学を卒業すると施設内の作業所で働くこととなります。ある日、伊波少年は内地の岡山県にハンセン病患者のための公立高校がある事を知ります。高校進学の夢が膨らみました。伊波少年は脱走を決意します。慰問に訪れた父親に高校進学の話をし、父親は息子の夢を何とか叶えたいと思います。当時の沖縄はアメリカ統治下です。父親は知り合いのツテでパスポートを取得します。脱走後の港までのルートも決めました。又、ハンセン病患者なので鹿児島に渡ったら、とりあえず鹿児島のハンセン病診療所に入所する手配もしました。脱走劇はまるで映画のようだった様です。そして鹿児島の施設内の中学生として岡山の高校を受験します。



岡山県 愛生園診療所



その高校で一人の外科医と運命的な出会いをし、その医者、橋爪医師の十数回の手術を受け、彼は遂にハンセン病を克服したのです。社会に復帰した伊波さんは診療所の看護師だった女性と結婚し、二児の父親になられます。しかし、元ハンセ



ン病患者に対する偏見と差別は容赦なく伊波さんの家族を引き裂きます。



伊波さんは2人の子供の将来を考え、離婚を決意しました。家を出て行く日、8才の長男と伊波さんは口論になり、「僕はお父さんについていく」「駄目だ」「どうして？僕が小さいから？」「そうだ」「じゃ何年経ったらお父さんの所に行っても良いの？」「10年だ」伊波さんは咄嗟にこう答えてしまいました。

そして、10年が過ぎました。一人暮らしの伊波さんのアパートに18才になった息子から電話がありました。「約束の10年が経ちました。会いに行ってもいいですか？」...“あいつ、覚えていたのか”伊波さんは驚かれます。数日後、息子は東京都の地図を片手に伊波さんのアパートを訪ねます。「多摩地区」のページだけがボロボロになっていました。10年間、ずっと父親の住む多摩地区のページを眺めていたのですね。当時「ライ予防法」には大きな政治の誤りがあったと言われていました。ハンセン病に対する差別と偏見は筆舌に尽くしがたいものがあったと言われていました。

それでも人間にはその運命を超える力がある。生きること、人を愛することの意味を今の子供たちに伝えたいですね。

幹事報告

稲見幹事

4月2日の臨時理事会において次の件が審議・承認されました。

(1) 入会希望者の承認について

小室様、田中様、高岸様、坂本様
入会を承認

会務報告

1. 「ロータリーの森」の奉仕活動参加について
2. 日高RC創立30周年記念式典について
3. 地区大会における選挙人名簿提出について
4. 地区大会における指導者研修セミナー開催について
5. 次年度地区役員承認について
6. 第3G、会長・幹事会開催について
7. 次年度第3G、会長・幹事会開催について
8. ロータリー補助金ニュースについて
9. 「世界寺子屋運動」、「環境保全支援運動」への協力依頼について

10. 青少年を育てる狭山市民会議総会開催について

11. 受贈会報 狭山RC 入間南RC

12. 例会変更 新所沢RC 所沢中央RC

13. 回覧物 第7回RYLA報告書

地区大会記念ゴルフ成績表

ロータリーカード実績表

難民を助ける会AARニュース

委員会報告

栗原会長エレクトより

地区協議会が4月10日に開催され、当クラブからは5人行って参りました。会長の私と幹事の宮野ふさ子さん、クラブ管理運営委員長の小島美恵子さん、奉仕プロジェクト委員長の栗原成実さん、ロータリー財団委員長の柴田譲さんの5人です。内容と致しましては、開会点鐘と挨拶をガバナーエレクトが行い、その後ガバナーが、ガバナー・ノミニーの紹介を致しました。本会議に移りまして、ガバナーエレクトが国際協議会報告、次年度運営方針、次年度支給付加金、これは現在の付加金に対して減額等色々ありました。そして次年度の地区予算、これ地区管理費の大幅削減が成されております。次年度地区協議会の基礎クラブ、次年度地区役員の紹介、ガバナー公式訪問予定日、次年度地区大会の案内その他、地区委員会別の次年度運営方針、これは地区委員会委員長が行いました。そして質疑応答、ガバナー・ノミニーの挨拶、前ガバナー挨拶、そして講評を研修リーダーが行いまして、講評を研修リーダーが行いまして本会議は終了となりました。その後懇親会に続きまして、懇親を深めて参りました。

宮野次年度幹事より

時期のガバナー・ノミニーは新世代委員長兼務の富士見RCの坂本元彦さんです。第3グループガバナー補佐は、所沢西の室伏秀樹さんです。中井ガバナーの方針とて、大きな柱としてセミナーの開催の短縮・簡略化があげられ、来賓者の挨拶は一切無く、大体午後から始まり、6時までには終わらめようという事です。開催日につきましては、これまで土・日が多かったようですが、会員の家族サービス等を考えまして、平日に行うように変更されました。

ガバナー月信は、いままで印刷された物が全員に配布されていましたが、次年度はメールで会長・幹事・事務局に送られて来ますので、それを見たいという人は、申し出て頂ければプリントアウト致します。

ガバナー公式訪問につきましては、4月17日にガバナー補佐会議が行われ、正式に第3GIM方式の日程が決定いたします。会員数の少ないクラブから先にまわるという事ですので9月以降になるかと思えます。

「外来卓話」・・・・・・・・

講師紹介 柴田 議員

井原さんとは昔からの付き合いではございません。2月11日に2570地区の財団のセミナーがあった時に、お手元に回しております財団の説明をして頂きました。私は初めて、財団の良き内容のある、理解できる、やさしい説明だと思いました。どうも財団というものは、距離が非常に遠い感じがしておりましたので、是非、井原さんにご説明頂ければと思い本日来て頂くことになりました。また同時に、先ほど吉松さんのお話にもありましたようにマッチング・グラントを通して、申請をおこす上で、なかなか理解ができない中でのことでしたので大変苦労を致しました。これも含めて、財団の在り方についての説明をして頂ければ一層有り難いと思っております。そして私は来年度、7月から当クラブの財団委員長になりますので、早めに手を打ちたいと思ひまして、今日の場を迎えたわけでございます。

マッチング・グラントは残念ながら今年度で終わりとなります。来年度からは夢計画の中の新地区補助金とグローバル補助金の2つに大きく分かれるそうです。このことは3年前、既に2770地区は行っており、私どもの2570地区は大変遅れております。先般2月11日にこの説明をしたときも、これから国際ロータリー財団と地区のロータリー等とタイアップしていくことになっておりますけれども、地区が優先的にこの職務を遂行していくとのことでした。今までは本部に流し、むこうで検討してもらってから、こちらで“YES”“NO”としておりましたが、これからは地区がそれを業務として行うようになってきたようです。ロータリー財団の簡略化に伴うことだと思ひますが、しかしこれにより、私共とロータリー財団の補助金制度の距離が、ものすごく近くなるわけで、そうした意味ではプラスになると思っております。

今日是非分って頂き、どんどん補助金を使っていきましょうという思いでございます。宜しくお願ひ致します。

『ロータリー財団 (TRF) について』

国際ロータリー第2770地区 財団奨学
平和フェロー・学友委員 井原 實 様



R 財団の歴史

R 財団は、1917年、米国ジョージア州アトランタで開催された国際大会においてアーチ C. クランフが、「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でより良きことをするために基金を作ろう」と提案したことに始まり、1928年の国際大会で

「ロータリー財団」と名付けられました。

その後、1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となりました。

R 財団の使命、標語、優先事項

2007年 規定審議会で、ロータリー財団の使命、標語、優先事項に関する決議が提出されました (07-116)。

使命：ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成出来るようにすること

標語：「世界で良いことをしよう (Doing good in the world)」

これはアーチ C. クランフがロータリー財団設立の時に述べた言葉です。

優先事項：

- すべてのプログラムと運営を簡素化すること
- プログラムの成果も内容も、未来の夢計画に沿ったものであること
- 地区レベル、クラブレベルにおいてロータリー財団を自分たちの財団と自覚すること
- プログラムの目標達成のための十分な資金と人材を提供すること
- 未来の夢計画を支える効果的な方策を開発すること

財団の資金 (寄付金) の集め方

- ・R 財団への寄付金の種類は何が有りますか？
 - 年次基金 2770 地区では 200\$/人 (約 2,500 人 x 200\$ = 50 万\$)
 - WF + DDF として 3 年後に元金を返金
 - 恒久基金 利子を地区に WF + DDF 返金
 - 使徒指定寄付 2770 地区では 50\$/人 (ポリオ)
 - 誰かが使徒を指定する 平和フェロー
 - ポリオ+ : ジフテリア、百日咳など 5 の疾病が含まれていた
 - インフラ整備 (病院など)

財団の資金の使い方 (プログラム) と使う方法などの指針

未来の夢計画: 約 14,000 人の R リーダーの意識調査に基づいて開発された

・未来の夢計画の目的

- R 財団の使命に沿って、プログラムと運営 (手続き) を簡素化する
- 世界の優先的ニーズに取組み、最大の成

果が期待できる奉仕活動に焦点を絞る
世界的目標と地元の目標の両方を果た
すためのプログラムを提供する
意思決定をさらに地区に移行すること
によって、地区レベルとクラブ
レベルで、R 財団が自分達のものであ
るという自覚を高める
(地区とクラブの裁量権を増やし、資金
の可視性、透明性を高めた)
R 財団の活動に対する理解を深め、ロ
ーターリーの公共イメージを高める

未来の夢計画の導入後は**教育的プログラムと
人道的プログラム**という言葉が使われなくなっ
てきました。

・R 財団の事業内容にどんなものがあるでしょ うか？

人道的補助金プロジェクト
(但し、新地区補助金は教育的プロジ
ェクトにも使用可能)
奨学金：R 財団(国際親善)奨学生、ロ
ーターリー平和フェロー
職業研修チーム(VTT)

・6つの重点項目とは何でしょう？

親善と平和
平和と紛争予防・紛争解決
教育
基礎教育と識字率向上
貧困の緩和
経済と地域社会の発展
健康
疾病予防と治療
水と衛生設備
母子の健康

上記の項目は9年ごとに見直されることになっ
ています。

地区が集めたR財団へ寄付金は、3年後に半額が
補助金として地区へ還流されます。

これをDDF(District Designated Found)と
呼んでいます。

残りの半額はWF(Word Found)という名前で
R財団自身が使います。

このシステムをR財団と寄付金をシェアする
という意味でシェアシステムと呼ばれています。

・R財団の補助金の種類には何が有りますか？

新地区補助金とグローバル補助金

どちらも以下の - に使われます

人道的補助金プロジェクト
(但し、新地区補助金は教育的プロジ
ェクトにも使用可能)
奨学金：R財団(国際親善)奨学生、世

界平和フェロー

職業研修チーム(VTT)

他にパッケージ・グラント(PG)が有り3種類
となります。PGはR財団と

外部の**戦略パートナー**が提携して、より大きな
プロジェクトを実施します。

PGではWFと戦略パートナーの資金を使って
プロジェクトを推進します。



井原 實様(さいたま新都心RC)

本日はお世話になります。2770地区から
参りました。よろしくお願ひします。

田口伸一様(狭山RC)

狭山中央RCの皆様には、いつもお世話
になり、ありがとうございます。本日は
メーキャップに参りました。よろしくお
願ひ致します。

若松君 次年度R財団部門委員長の井原様、卓話
よろしくお願ひ致します。

稲見君 次年度2770地区R財団部門委員長の井
原様、今日にお話楽しみです。勉強させ
て下さい。

江原君 国際ロータリー第2770地区財団奨学・
平和フェロー・学友委員会委員、井原實
様本日はお忙しい中、卓話の時間を設け
て頂きありがとうございます。お話し楽
しみにしております。何卒よろしくお願
ひ致します。

竇積君 水野の空に100匹の鯉のぼりが泳いでい
ます。是非見に来て下さい。

栗原(憲)君 国際ロータリー第2770地区財団奨
学・平和フェロー・学友委員会委員、井
原實様ようこそお出で下さいました。
狭山RC幹事・田口伸一様、ようこそお
出で下さいました。

小澤君 井原様、遠路狭山までお越し下さり、ご
苦労様です。「財団に関する卓話」期待致
しております。

柴田君 2770地区さいたま新都心RC出身の井
原實様、本日財団の説明やさしくお教え
願ひします。